

町内会



市内には282の町内会があり、住みよいまちづくりを積極的に推進しています。

その重要な役割を果たす町内会を取りまとめる21の地区連合町内会について、順に紹介します。

奥飛驒温泉郷 連合町内会

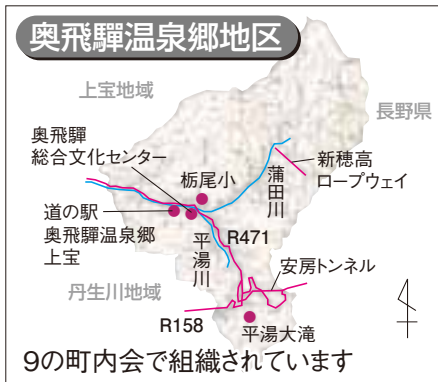
地区会長の一言



はばした 端下 ただし 忠さん

「子化」と言われる中ではあります。特に私の地元では帰郷する若者たちが増え、小さな子どもたちも多くいますので、将来が期待されています。このような環境をこれからも継続していきけるよう各町内会の会員の皆様と協力しながら、夢のある地域づくりに努力して行きたいと思っています。

奥飛驒温泉郷地区連合町内会は、高原川の左右、モズモ川沿い、蒲田川沿いにある9つの町内会で構成しています。昨年までは12の町内会がありましたが、今年の3月に4つの町内会が合併しました。自然環境に恵まれたこの地域は温泉資源も豊富で、露天風呂の数の多さでは日本一とも言われています。地域の方々は、旅館業など観光産業に携わっている人も数多くおり、「少



きらり輝く 地域活動 伝統芸能の継承

栃尾小学校には13年前から受け継がれている「栃っ子たから太鼓」があります。これは5・6年生の総合学習における「ふるさとに生きる」学習の一環として、5年生から和太鼓を学んでいるものです。

地域の方から直接教えてもらう場は、地域の方々の生き方とつながる場でもあります。子どもたちが身につけた演奏は学校活動にとどまらず、地域の行事にも定期的に出演することによって、伝統



子どもたちによる「栃っ子たから太鼓」

文化として根付いてきていることが地域の誇りです。

栃尾小学校の子どもたちが、将来にわたって、ふるさと奥飛驒温泉郷とつながることができる活動になるよう、これからも大切に続けていってほしいと願っています。

私たちの地区自慢 町内会挙げでの美しい環境づくり

飛驒山脈のふもとに位置する奥飛驒温泉郷は標高も高く、長い冬が過ぎ春の訪れとともに一斉に木々や草花が芽吹き、さわやかな新緑の季節を迎えます。

初夏を迎える前に道路沿いの草が長くなってきましたので、町内会のみなさんが6

月中旬から7月初旬にかけて平湯から新穂高、栃尾から笹嶋までの約20kmの長い道路沿線の草刈り作業を一斉に行います。また、沿線道路などのごみ拾いなどもあわせて行い、各地区の環境がより美しくなるよう頑張っています。

奥飛驒温泉郷を訪れる多くの観光客の方に、きれいな環境で美しい自然に親しんでいただけるよう町内会全員でよりよい地域づくり



町内会総出の草刈り作業

を推進しています。

住みよい まちづくりは みんなの手で！

《レクリエーション活動》

町内会では、ハイキングやスポーツ大会、盆踊りなど住民が気軽に参加できる楽しい催しを行い、子どもから高齢の方までの世代交流を進めています。町内会未加入の方は、ぜひ加入をお願いします。

問合せ先

町内会連絡
協議会事務局
35-3412